

第31回/2011年

児童図書館員養成専門講座募集要項

目 的

児童奉仕の現場で中心的役割を果たし、指導者・助言者として活躍できる人を養成する。

期 日

前期 2011年6月27日(月)～7月 2日(土) [6日間]

後期 2011年9月26日(月)～10月5日(水) [9日間] 10月1日(土)は休み

会 場：主として日本図書館協会

受講資格

司書有資格者であること。かつ、上記の目的に沿った、次の条件をみたす人。

公共図書館職員として5年以上の経験を持ち、児童奉仕担当を2年以上経験していること。

もしくは、国立国会図書館、小中学校図書館等に所属し、上記の条件に準ずる経験を有すること。

募集人員 20名程度

応募方法

(1) 本人の略歴(氏名、フリガナ、年齢、勤務先(連絡先)所在地、現在の雇用形態及び職名、司書資格取得方法および年月日、図書館員としての履歴、そのうち通算児童奉仕担当履歴も年数が分かるように明記すること)

(2) 課題 「児童図書館員養成専門講座受講を必要とする理由」について40字×36行から40行(A4用紙1枚以内 縦置き横書き)にまとめること。

課題 以下に掲げる課題図書を読み、自分の体験と照らし合わせてどのように考えるのか感想文を、40字×36行から40行(A4用紙1枚以内 縦置き横書き)にまとめること。

『児童図書館への道』ハリエット G.ロング著、友野玲子訳、日本図書館協会

(字数不足あるいは字数超過は原則として審査対象とならないので、注意すること)

上記(1)(2)を4月21日(当日必着)までに、日本図書館協会児童図書館員養成専門講座係宛て送ること(メールの場合は添付ファイルで shiryoshitsu@jla.or.jp宛て)

受講者決定通知：5月下旬 本人宛て通知

受講者の決定は、児童青少年委員会の書類審査による。受講決定後、必読図書と各科目の課題を通知する。

参加費：日本図書館協会個人会員 4万円、個人会員外 5万5千円

修了証：全講座を受講した者に修了証を発行

主 催：(社)日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14(電話 代03-3523-0811 e-mail:shiryoshitsu@jla.or.jp)

後 援：全国公共図書館協議会 (社)全国学校図書館協議会

第31回(2011年)児童図書館員養成専門講座カリキュラム

前期

		午前(9:30~12:30)	午後(1:30~5:00)
6月27日	月		開講式 坂部 豪
28日	火	児童奉仕の運営・年間計画	川上博幸
29日	水	児童奉仕の実際(1) 乳幼児サービス	島本まり子
30日	木	子どもの文学の基本としての昔話	松岡享子 おはなしの実演
7月1日	金	図書館の魅せ方	押樋良樹 ブックトークの実演
2日	土	児童図書(自然の本)の編集・出版 飯野寿雄	子どもを知る(仮) 谷村雅子

後期

9月26日	月	児童資料(1) 外国の児童文学	早川敦子
27日	火	児童資料(2) 絵本	矢野 有
28日	水	児童奉仕の実際(2) レファレンス	東京都立多摩図書館
29日	木	児童奉仕の実際(3) ストーリーテリング	内藤直子
30日	金	児童資料(3) 日本の児童文学	宮川健郎
10月2日	日	児童奉仕の実際(4) ブックトーク	杉浦弘美
3日	月	児童資料(4) 科学の本と科学あそび	塚原 博
4日	火	児童奉仕の実際(5) 選書・蔵書構成	杉岡和弘
5日	水	児童奉仕の実際(6) 障害のある子ども たちへのサービス 山内 薫	研修の自己評価とまとめ 坂部 豪

第30回児童図書館員養成講座受講生の感想から

- ・ 課題と日常業務のやりくりが大変でしたが、どの課題も講義もとても勉強になり、意味あるものになったと思います。新人研修以来、体系的に児童サービスを学ぶ機会がなかったので、これまで自分自身が得てきた知識や経験の再確認や、勉強不足な部分を認識するためのいい機会になりました。全国の図書館で働く仲間に出会えたのも刺激になりました。様々なことを話す中で図書館を取り巻く状況についても考えるきっかけになりました。自館の中ではなかなかこのような研修はできないし、他の図書館の様子などを知ることもできないので、ぜひ今後も養成講座を継続して実施していただき、他の職員にも受講してもらいたいと思います。
- ・ 受講前は、経験不足で知識もないし、と自分の評価を低く見積もることが多かったのですが、山盛りの課題を提出し、養成講座を修了できたことで、少しだけですが、自分に自信を持つことができました。他の受講生の方に学ぶことも多く、良い体験ができたと思います。また、設置されている地域や、自治体組織の一員である自覚を持ちながら、児童図書館員としての技術を磨き、経験を重ねなければならないことがわかりました。公共図書館の中の児童図書館員として必要な知識や、実践に役立つ講座を設けていただき、ありがとうございました。